

連環データ分析への招待 第2章：スタンダード版

1. 派遣労働者のプロファイリング分析

昨今、景気情勢の悪化や労働形態の多様化から派遣労働者が増える中、派遣切りが社会問題化するなどの出来事があり、実際の派遣労働者の意識や彼らの置かれている状況を知ることが社会的に求められている。しかしながら一口に派遣労働者といってもその立場はそれぞれであり、求めているものも異なるだろう。派遣労働者のアンケート結果から連環データ分析により派遣労働者をいくつかのグループに分け、そのプロファイリングを行うことで、彼らについての理解が容易になる。その上で、現在の日本が直面している問題点と合わせて考察を行う。

1.1. データを用意する

社団法人日本人材派遣協会

(<http://www.jassa.jp/employee/enquete.html>) から提供されている、派遣スタッフ Web アンケート調査結果のデータを利用させていただく。

(<http://www.jassa.jp/employee/enquete/100331web-enquete.pdf>)

元データは上記資料にある表を連環データ分析スタンダード版で解析を行うために、すべての表のサブジェクトが共通になるように、データの内容は変えずに形式を変更したものである。

今回は、派遣スタッフが「派遣で働く理由」の各項目の集合をサブジェクトとする。アトリビュートには三組あり、一組目は「性年齢」、二組目は「同一派遣先での通算就業期間」、三組目は「今後の働き方の希望」である。従って、クロス表は、三組である。

連環度データはアンケート結果の表に記載された値をそのまま使用する。

最初のクロス表は、共通の 17 のサブジェクト（派遣で働く理由）に対し、14 項目のアトリビュート（性年齢）となる【表 1.1】。

二番目のクロス表は、共通の 17 のサブジェクトに対し、通算就業期間の区分の 7 つのアイテムからなるアトリビュートとなる【表 1.2】。

三番目のクロス表は、共通の 17 のサブジェクトに対し、今後の働き方の希望の 7 つのアイテムからなるアトリビュートとなる【表 1.3】。

【表 1.1】 派遣で働く理由と性年齢

item	女性19 歳以下	女性20 ～24歳	女性25 ～29歳	女性30 ～34歳	女性35 ～39歳	女性40 ～49歳	女性50 歳以上
専門的スキルを生かせるため	0	9.2	10.8	12.9	14.3	17.2	22.6
時間を有効に活用できるため	71.4	39.7	39.4	36.9	35.9	36.9	42.7
働く期間・時間を自分で決められるため	71.4	47.2	45.4	47	46.9	45.2	46.8
多数の中からやりたい仕事を選べるため	42.9	34.5	31	31.6	32	26.6	23
生活設計がしやすいため	28.6	10.5	12.4	11.6	10.3	9.9	11.4
勤務地を自分でえらべるため (通勤時間が短い)	14.3	28.4	28.5	32.3	32.7	32.1	30.8
職場の人間関係に拘束されないため	14.3	22.7	21.3	22.7	23.9	23.3	21
有名企業・大企業で働けるため	0	14	18.1	19.1	17.7	14.7	8.5
正社員として働ける就職先がなかったため	28.6	29.7	36	37.3	39.1	40.5	34.7
賃金が高いため	57.1	34.1	25.1	22.5	21.2	22.8	22.1
勤務評価が適切なため	0	3.5	2.7	2.8	2.9	3.3	3.4
スキルアップになるため	14.3	19.2	21.2	19.6	19.7	18.2	15.7
教育訓練があるため	0	4.4	2.4	2.5	2.2	3.7	2.8
就職活動のつなぎになるため	14.3	28.4	17.1	12.8	13	11.9	7.5
組織に縛られないため	14.3	16.2	18	19.1	22.1	20.8	17.6
ライフスタイルがかわったため (結婚、子育て、定年等)	14.3	5.2	16.2	22.8	25.5	31.4	35.1
その他	0	4.4	3.8	3.2	4.1	3.5	4.3

このクロス表は紙面の都合上、男性の性年齢（表頭）と派遣で働く理由の（表側）のデータを省略してある。

【表 1.2】 派遣で働く理由と同一派遣先での就業期間

item	2ヶ月以下	2ヶ月超 6ヶ月未満	6ヶ月以上 1年未満	1年以上2 年未満	2年以上3 年未満	3年以上5 年未満	5年以上
専門的スキルを生かせるため	14.1	14	18	21.2	12.3	11.3	9.2
時間を有効に活用できるため	19.3	12.8	15.5	21.2	12.7	11	7.5
働く期間・時間を自分で決められるため	20.7	14.5	14.9	21.2	12.1	10	6.7
多数の中からやりたい仕事を選べるため	19	14.5	17	22.2	11.5	9.8	5.9
生活設計がしやすいため	17	14.1	16	23.1	13.4	9.4	7.1
勤務地を自分でえらべるため (通勤時間が短い)	16	13.4	14.8	22.9	13.3	11.5	8.2
職場の人間関係に拘束されないため	16.8	13.2	14.9	22.4	12	12.5	8.3
有名企業・大企業で働けるため	13.1	13.1	16.3	22.4	14.3	12.3	8.5
正社員として働ける就職先がなかったため	12.8	13.1	15.8	22.9	13.4	12	10
賃金が高いため	17.6	13.7	15.5	21.6	12.2	11.7	7.7
勤務評価が適切なため	18.8	11.8	12	23.6	11.3	11.3	11.3
スキルアップになるため	16.4	13.4	18.6	22.6	12.1	10.5	6.4
教育訓練があるため	23.2	15.1	19.1	18.3	10.1	8.4	5.8
就職活動のつなぎになるため	21.2	16.5	17.6	20.2	11.2	8.7	4.7
組織に縛られないため	16.2	12.1	14.8	22.3	13	12.4	9.2
ライフスタイルがかわったため (結婚、子育て、定年等)	17.8	12.3	15.6	22.7	12.8	10.7	8.1
その他	14.9	12.5	15.5	20.8	12.4	12.4	11.6

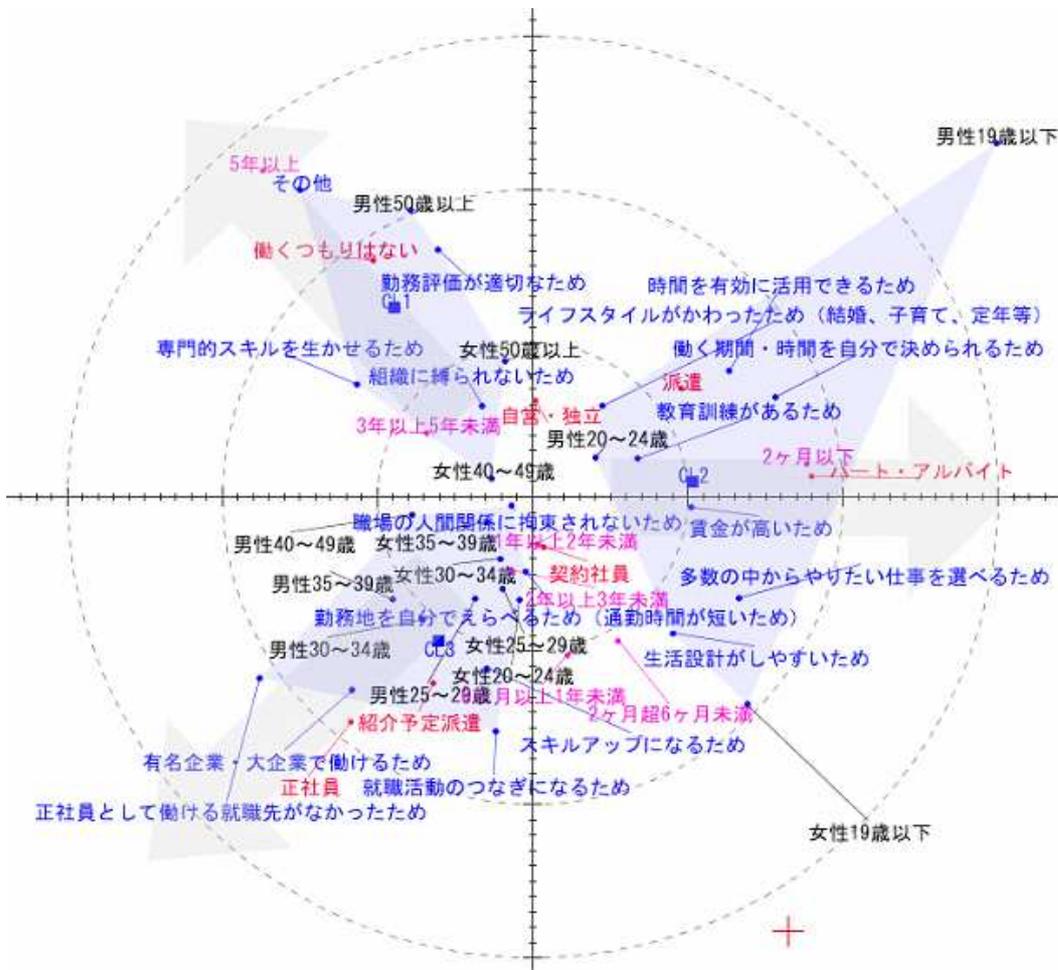
このクロス表は紙面の都合上、派遣で働く理由の項目のデータを一部省略してある。

【表 1.3】 派遣で働く理由と今後の働き方の希望

item	派遣	紹介予定派遣	契約社員	正社員	パート・アルバイト	自営・独立	働くつもりはない
専門的スキルを生かせるため	31.6	12.1	6.9	38.5	3.6	6.6	0.7
時間を有効に活用できるため	37.8	10.2	6.5	30.3	7	7.8	0.5
働く期間・時間を自分で決められるため	40.1	9.9	5.9	29.3	7.8	6.5	0.5
多数の中からやりたい仕事を選べるため	35.2	13.3	6.1	34.3	5.6	5.2	0.2
生活設計がしやすいため	42.5	10.1	7.2	25.5	8.1	6.1	0.4
勤務地を自分でえらべるため(通勤時間が短い)	37.4	11.4	6.6	32.7	6.7	4.8	0.5
職場の人間関係に拘束されないため	41	11.5	6.4	29.2	5.2	6.2	0.6
有名企業・大企業で働けるため	27.5	14.1	5.9	44.5	3.6	3.9	0.4
正社員として働ける就職先がなかったため	15.2	13	5.8	59.5	2.2	4	0.3
賃金が高いため	34.2	11.6	6.1	36.2	6.4	5	0.6
勤務評価が適切なため	41.9	16	7.3	26.4	3.4	4.5	0.5
スキルアップになるため	30.7	14.6	5.4	40	3.2	5.7	0.4
教育訓練があるため	28.1	11	9	41.4	4.6	5.5	0.3
就職活動のつなぎになるため	10	13.1	5.3	63.5	3.1	4.7	0.3
組織に縛られないため	41	11.8	6.7	26.2	5.2	8.3	0.8
ライフスタイルがかわったため(結婚、子育て、定年等)	39.5	8.7	7.6	29.7	8.6	5.3	0.5
その他	22.5	9	4.9	49.6	4.1	8.4	1.4

このクロス表は紙面の都合上、派遣で働く理由の項目のデータを一部省略してある。

1.2. データをMAP化してみる



【図 1.1】 派遣労働者のプロフィール

1.3. MAP を読む

三のクラスタ（グループ）に分けて検討する。

ひとつ目のグループは働き盛りのものたちのグループであり MAP の左下に位置する。性年齢は、男性 25 歳～49 歳、女性 20 歳～39 歳。通算就業期間は二ヶ月以上～三年未満。今後の働き方の希望は正社員、紹介予定派遣、契約社員。派遣社員を選んだ理由には「正社員として働ける就職先がなかったため」「有名企業・大企業で働けるため」「就職活動のつなぎになるため」「スキルアップになるため」「勤務地を自分で選べるため」などが挙げられる。

このグループは、社会における主要な労働力のグループであり働き盛りの年代の男女で構成される。

派遣で働く理由として「正社員として働ける就職先がなかったため」、今後の働き方の希望には「正社員」とするのが、このクラスタの特徴である。

る。これらの項目がこのクラスターの矢印の方向でかつ、外側に位置していることからそれがわかる。

二つ目のグループは仕事以外に優先するものを持っているグループであり MAP の右に位置する。性年齢は女性十九歳以下、男性十九歳以下（但しこれらはアンケート回答者の中ではかなりの少数派である）。今後の働き方の希望は派遣。通算就業期間は二ヶ月以下。派遣社員を選んだ理由には「時間を有効に活用できるため」「ライフスタイルが変わったため（結婚、子育て、定年など）」「教育訓練があるため」「賃金が高いため」「多数の中からやりたい仕事を選べるため」「生活設計がしやすいため」などが挙げられる。

これらの理由から、家庭や育児との両立を望む主婦や、個人的な事情で仕事以外のことに生活の重点を置いている人たちのグループと言えるだろう。

三つ目のグループは、引退間近でスキルフルなグループであり MAP の左上に位置する。性年齢は男性五十歳以上、女性四十歳以上。今後の働き方の希望は、働くつもりはない、自営・独立。通算就業期間は三年以上。派遣社員を選んだ理由には「組織に縛られないため」「専門的スキルを生かせるため」「勤務評定が適切なため」などが挙げられる。

男性五十歳以上、女性四十歳以上の男女のグループで、長い就労経験がありスキルが高く、自身の能力に自信があり同一派遣先での通算就業期間も長い。今後は、自営・独立を考えていたり、働くつもりはないなどと切羽詰った状況にはおらず、余裕が見えるグループである。

【解説コーナ】

派遣労働者と一口に言っても様々である。家庭を持ち、フルタイムで働き正社員での雇用を望む人が居れば、家庭との両立を考える人、引退間近の人もいる。本解析で行ったように、プロフィールからいくつかのグループに分類して考えることで、一步踏み込んで、彼らの意識やニーズを考えることが容易になる。

非正規労働を規制する派遣労働者禁止法の是非を巡る議論がある。片や有期・派遣・請負等の自由な労働形態を認めるべきとし、片や派遣切り、いじめ・嫌がらせの訴えが各機関に多く寄せられていることを問題としている。

行政サービスとして、セーフティネットの必要性和新産業創造の必要性のバランスの問題が、古典的な産業政策か社会政策の問題として現れている。また、最近、需給のマッチングの問題が、注目されているが、需給両面にわたるグループ・プロファイリングが必要である。

提示仮説 2.1.1.

仕事と家庭を両立しようとする主婦や、高齢者が派遣労働者として働きやすいルールを開発することが、多様な労働形態を実現するために、必要であろう。現在日本で不足している健康維持支援活動や、ICT技術作業等の潜在的ニーズを顕在化し、マッチングを取り支援する制度開発こそが行政の最大の課題であろう。これらの基本的な社会ニーズは、長期的で公共的な視点から、最も重要なアジェンダとして研究開発テーマに取り上げられるべきであろう。

この仮説を支持する。

この仮説を支持しない

提示仮説 2.1.2

性年齢の分布から、非正規労働者の大部分を占めていると考えられる労働意欲があり、かつその必要性にも駆られている最も厳しい状況にあるのは、二十代から四十代の働き盛りの男女がであろう。家庭を支える立場でありながら、派遣労働者という不安定な低賃金で働いている人達である。

その根本には世界的な景気の悪化のみならず、中国などのアジア企業の台頭により、日本企業の競争力が著しく低下していることが最も大きな要因として挙げられる。しかし、戦前に制定され、戦後強化された長期雇用制度と、それを既得権益とする、司法、公的機関、人事部門、正社員やOB等が、それらの要因を構成している。

この仮説を支持する。

この仮説を支持しない